

# 日本臨床ゲシュタルト療法学会第9回大会

2018年12月8日(土) 10:00~18:30

会場：大阪クリスチャンセンター  
大阪市中央区玉造2-26-47 大阪女学院大学隣接

郵便による申込：〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34

京都橘大学 健康科学部 心理学科 中西龍一研究室気付

日本臨床ゲシュタルト療法学会 事務局

問合せ先・メールによる申込：E-mail: [nakanishi-r@tachibana-u.ac.jp](mailto:nakanishi-r@tachibana-u.ac.jp)

ホームページ：<http://www.clinicalgestalt.gr.jp>

大会参加費：学会員 5,000円 非学会員 7,000円 院生・学生 3,000円

参加には、事前に郵便あるいはメールにてお申込が必要です(申込書12月1日必着)。  
臨床心理士の方は継続研修ポイントを申請する予定です。



[受付] 10:00~

[基調講演] 10:30~12:00

「善」は真に「善」か。同様に「悪」は真に「悪」か 一図地反転の視点からー

演者：倉戸 ヨシヤ(大阪市立大学名誉教授)

[発表1] 13:00~13:40 (40分):

「声に出してみることによって見えた次の景色ーゲシュタルト療法 50 セッション訓練の気づきー」

発表者：吉野 真紀(日本福祉大学)

[発表2] 13:45~14:25 (40分):

「SCが触媒として機能することの重要性 -生徒と教員へアプローチを行った一事例-

発表者：大林 裕典(大阪府立大学心理臨床センター)

[発表3] 14:30~15:10 (40分):

「体験に開かれることと他者と関わること-ゲシュタルト療法 50 セッション訓練を振り返って-

発表者：岡田 康志(仁愛大学附属心理臨床センター)

[フォーラム] 15:20~17:20(120分)

「子育ての喜びと苦勞、そこに気づきはあるのだろうか」

司会者：金子 周平(九州大学)

話題提供者：原谷 直樹(大阪府中央子ども家庭センター)津田 恭子(大阪市弘済小中分校学習サポーター)

井口 和(えん社会福祉事務所)

[学会全体の体験のシェア]17:25~18:25(60分)

司会者：細越 寛樹(関西大学)中西 美和(大阪女学院大学)

[総会] 18:25~18:30 事務局長 中西 龍一(京都橘大学)